嵐山東ふれあいだより

発　行
嵐山東社会福祉協議会

責任者
中路　枝里子

社協評議員・福祉協力員研修

学区総合防災訓練

学区総合防災訓練が11月24日（日）、西京消防署松尾出張所、嵐山東消防団、嵐山東自主防災会、社協役員そして住民の方々、総勢２００名近くの参加を得て開催されました。

小学校の校庭では、住民の皆さんによるバケツリレーや消化器での消火活動などの訓練が行われました。

一家に一台あると安心
……消火器訓練

戦時中にもやりました
……バケツリレー

また、災害時に地域の避難場所に集まるまでに**「するべきこと」**を教えていただきました。

体育館の中では、学校にある避難所開設時の為の備蓄品や、各家庭で備蓄すべき物資などの展示やプリントなどの配布を行いました。

昨年度の相次ぐ自然災害を教訓に、**「災害を我が事」**と捉えて、熱心に見たり聴いたりする方が多くおられた、と実感しました。

花プロジェクト

夏季教育キャンプ

夏休みの思い出づくり

本年の夏季教育キャンプを８月３日～４日の一泊二日で、亀岡市七谷川野外活動センターにて、中学生３名、小学生26名、委員18名と河崎校長先生。ＰＴＡから塩見会長ほか２名の方に応援に来ていただき、総勢51名にて実施となりました。

当日は２日間とも晴天に恵まれましたが、京都市内では38度を超える酷暑となり軽度の熱中症の子どもも発生しましたが、大きな事故もなく子どもたちは七谷川での水遊び、カレー作り、キャンプファイヤー、アスレチック、流しそうめん、ビンゴゲームなど、日頃行うことのない体験を楽しみました。

きっと、夏休みのよい思い出になったことと思います。

少年補導委員会
村田純一

「嵐山東ふれあいだより」は共同募金の配分金で作成しております。

社会福祉協議会
賛助会員（賛助会費）募集のお願い

自治会単位だけでなく、
個人も受け付けています。
よろしくお願いします。
中路（090-9112-2605）まで
京都市西京区社会福祉協議会

松尾大社・抜穂祭（令和６年10月19日）

境内の「神饌田」で地元の子供たちが稲刈り

（大人３人）
いつもお世話になっています

児童館からのお便り

８月６日（土）
「流しそうめん」は５年ぶりの開催!! 流れてきたそうめんを上手にすくって、お腹いっぱい食べました。

11月16日（土）「あらひが☆じどうかんまつり」は食べ物コーナーを再開し、児童館と小学校体育館の２か所開催!! 300人を超える来場者を迎え、みんなに楽しんでいただけました。

地域一丸となって盛り上がろう!!

5年ぶりの夏まつり

団結の力を、これからも

各種団体の皆様　大変ご苦労様でした。嵐山東地域の団結の良さが現れていたのではないかと思っております。

体振としては、ゲームとジュース、焼きそばを担当させて頂きました。

5年ぶりの夏祭りとあって参加者が多く、盛況で大変良かったと思っていますが、当日体調を崩している模擬店担当者が多く、人の手配に苦労を致しました。

反省点としては、焼きそばは猛暑の中あまりの暑さで、担当者の体調が非常に心配でした。来年は変更を考えております。また、券売り場の混雑の解消も課題となっています。

全体的に地域の活性化のため、来年も催して行きたく思っていますが、もっと実行委員会での打ち合わせなどをしっかりとして行く必要があると思います。

体育振興会　松原常夫

ふれあいの場の大切さ

5年ぶりの嵐山東夏まつりに、当委員会はうどん、かき氷、ポップコーン販売模擬店で参加し、連日の酷暑の中、協力いただいた委員の方には暑さに耐えながらの厳しい環境での運営となりましたが、演目、ゲーム、花火などを楽しむ地域の方々や子どもたちの笑顔と歓声は途絶えることなく盛況であったと思います。

改めて地域活性化のためには、このようなふれあいの場の大切さを実感すると共に、今後は開催時期や運営方法を見直し、来場者、運営者の双方が楽しめる、より良い内容にしていくことが必要かと思います。

最後に運営・企画にご協力いただきました皆さまに深く感謝いたします。

少年補導委員会　村田純一

縁の下の力もち

防犯推進委員会は、会場の小学校正門に陣取って不審者の侵入の見張りや校舎裏の暗がりの随時パトロールで、安全な祭りの進行の裏方として協力いたしました。

イベントや模擬店は実施していませんが、推進委員の多くは各種団体の役員を兼ねていて、その立場でそれぞれ祭りに参加しました。

地球温暖化の影響で体調不良を訴える児童も数名あり、次年度からは日没後の「祭典」を提案します。

防犯推進委員　倉橋精一郎

この先もずっと

夕方の賑わう運動場を眺めながら見つける顔に、成長を感じたり、状況が聞けたり、「またね」と約束したり。ひとつひとつのつながりが感じられることが、このような地域のお祭りの醍醐味なのだろうと感じます。

色々な世代が協力し助け合って、この先も続いていってほしいな、と思いました。

嵐山第一　氏内牧子

救護体制の備えを

今回、消防団は警備のみを実施することとなりました。

大変暑い中での開催となり、熱中症警戒情報も出されていました。

すると、一人の児童が顔面蒼白の状態で連れてこられ、氷などでアイシングをし回復に向かい母親に引き渡しました。その後も3～4人の熱中症と思われる児童が続出しふれあいサロンでの救護になりました。この暑さの中では救護体制の考慮が必要かと思われます。

嵐山東消防団

会えない人と交流が出来ました

5年ぶりの夏まつりは、熱中症を気にしながら水分を補給し、みたらし団子を販売しました。

大人達は大変でも、子供達の元気な声や姿を見ると、夏まつりが開催されて良かったなあと思いました。いつもはなかなか会えない学区の人達と交流が出来たことも、良かったです。

又、来年も子供達の喜ぶ顔や楽しんでいる姿を見たいと思いました。

保健協議会・献血会　竹中桂子

気づきもたくさん

5年ぶりの夏まつりの開催でしたが、例年にない暑さで、どれだけ多くの方に来ていただけるか……さすがに4時の開会はきつかった。

夕暮れもまだまだ明るく、来場者も増えて良かったですが、夏まつり本部が、うまくお客さまを誘導していただけていたらなあ、と思いました。

あと、お楽しみの花火が、後半賑やか過ぎたマイクパフォーマンスで、ちょっとね。

社会福祉協議会　中路枝里子

秋の開催でも

7月の「夏まつり」は5年ぶりとのことで、私も初めて自治会役員として参加しました。

初めての参加ですので、以前の夏まつりとは比較はできませんが、各町内会が一堂に会して協力して運営し、また親睦を深めるという意味では、概ね良かったのではないかと思います。

ただ、今夏も酷暑で、体調不良の児童も出て、7月の実施が適当かという問題は残ったと思います。次年度以降、9月に『夏祭り』として移行することも検討すべきと思っています。

第二中部　高部通生

夏祭感想

暑い一日でしたが参加された皆様の情熱により、あっという間に会場が出来上がりました。楽しい祭りになったと思います。

朝月町北部　五嶋

盆踊りもあればいいな

自治会長として初めて夏まつりに参加した。子供中心の夏まつりを地域の皆様が盛り上げている。特に役割の無い身には身の置き場がない。体育館で行われていた車椅子体験に参加する。すぐに車椅子の運転に馴れて楽しい。夏まつりと言えば盆踊り、その音頭が周辺に流れ、お年寄りから子供まで楽しめる盆踊りがあるともっと盛り上がるのではないかな。

薬師下町　林田昌己

役割分担をして負担軽減を

最初は、暑い中のお手伝いに少し負担を感じていたのが正直なところですが、初めて顔を合わす人と一緒に汗を流しながらお役を務める中で、だんだんと距離が縮まったり、久しぶりにお会いする方と話がはずんだり、子どもたちの楽しそうな顔を見ることができたり、後半には夏まつりのお手伝いをさせていただけて良かったなと思いました。

特におやじの会の花火など、大人たちが真剣に取り組む姿を子どもたちが見ることは、とても貴重だと思いました。

意見としては、朝早くから夜の片づけまで、暑い中の長丁場となりますので、もう少し時間を分担して担当を決めていただけたら負担が軽減できるかなと感じました。

宮ノ前町　田中

笑顔あふれ、つながる

地域、保護者の皆様のおかげで、たくさんの人の笑顔が見られた夏まつりでした。「食べる」「見る」「体験する」など、小学生の子どもたち、卒業生たちは、本当に楽しんでいました。人とのつながりのよさを、感じられる空間が広がっていました。

子どもたちが、夏まつりの運営に汗を流して一生懸命してくださっていた地域の皆さんの姿を見て、「いつか、自分もやってみたいな」と思い、次代の担い手に育ってくれることを願います。

嵐山東小学校　川崎由佳

車椅子体験のお手伝いをさせていただきました

体育館に作られたコースには、小さな段差や狭い道など、バリア（障がい）が沢山。果敢に挑戦する子どもたちでしたが、スタッフが「お手伝いしましょうか」と声をかけ必要な場面では、少しお手伝いをしました。

楽しみながらも、バリアに気付く視点や困っている方への声掛けの仕方などを学んでもらう機会になったのではないかと思います。

スタッフの皆さま、暑いなか大変お疲れさまでした。

西京区社会福祉協議会　職員

盛り上がりました

出店や花火など盛りだくさんで、子どもたちにとっても大人にとっても、夏の思い出に本当になったと思う。何よりも地域の力を感じることができ、小学校、地域の方、児童館の協力と繋がりと力を感じることができて、良い経験となり楽しめました。事前の会議を重ね、暑い中誰一人大変だと言わず準備をしていくことは、なかなかできないことだと思います。夕方5時を過ぎても気温が下がらず、暑さ、熱中症が心配なので、開始時間をやはり17時でも良い気がしました。

ステージ発表に、児童館は3チーム出させていただきましたが、保護者の方も地域の方も、子どもたちが頑張る姿を嬉しそうに見ていただき、児童館や学童クラブのことを知らない方にも知ってもらえる良い機会となり、出させてもらえたことに感謝です。

おやじの会の花火は準備が大変だったと思いますが、参加されている方を見るとみなさん笑顔で上を見上げ、とても喜んでおられ、楽しめました。おやじの会のお父さんたちが屋上から手をふる姿にとても感動で、選曲も最高でした。

嵐山東児童館

「サイコロゲーム」楽しかった！

コロナ禍明け、5年ぶりの夏祭りの開催でしたが、皆さんに楽しんでいただけたと思います。我が民児の出し物は、例年の「サイコロゲーム」幼児から児童・Z世代・高齢者までが幅広く楽しめます。

ゲーム内容は、1回100円！ただサイコロを振るだけで100円の花火（物価高騰により中身は少なくなった）がもらえ、サイコロの出目によって「7」→ラッキーセブンで、もう一回楽しめる。「ゾロ目」→素敵な景品がもらえる。

ゲームが楽しくて、依存症ではないと思いますが……何度も何度も楽しむ子どもたちがおられました。

今年は猛暑の影響で日没になっても暑く、常に水分補給が必要でした。体調を崩された方もありました。地区の親睦など「夏まつり」が今後も開催の必要性がありますが、開始時期も含め、暑さ対策が必要と思われます。

民生児童委員協議会　河原保男

車椅子体験会に参加してみて

夏まつりで5年ぶりに実施される車椅子体験会のお手伝いに会場へ行きました。

まず自らが体験をさせていただきました。数cmの段差を自力で上がることなど、大変難しいことがわかりました。

体験会は子たちのゲーム会場の様相でした。「楽しい」「面白い」と言ってくれることを通じて車椅子に乗っている人たちへの心遣いにつながると思います。

遊びながら学ぶ素晴らしい体験でした。

第二西部　杉村和俊

令和6年7／27夏まつり「車椅子体験コーナー」に参加して

最初はスタッフの方に付いていただき自分で車椅子に乗り、カーブ、段差のあるコースを悪戦苦闘して回りました。押すのと乗るのでは全く違い、少しの段差も乗り越えるのがむづかしく、これからは困っておられる方がいらっしゃったら積極的にお声かけしようと思いました。

東一川町　天満　泉

盛況御礼

連日猛暑が続く今夏でしたが、満を持して7月27日、5年ぶりに挙行されました。

実行委員の皆さんにおかれましては、お疲れ様でした。謹んでお礼申し上げます。またご来場の皆様、ありがとうございました。

もっともこの間、有志団体によるミニイベント等、鋭意企画開催されましたが、ほぼ従前通りにできたのは久しぶりでした。また数名に体調不良の方がおられましたが、いずれも大事には至らなくて幸いでした。

さて、コロナ禍は色んな点で地域活動に問題提起を投げかけてくれました。まだまだ終わった訳でもなく油断はできませんが、この際改めてひとつ一つ考え直す良い機会かも知れませんね。

このところ話題に上がるのは、ホントに真夏にやってもいいものか？ですね。

なにはともあれ、子供たちの笑顔のため、地域の親睦のために。できることから無理せずにというところでしょうか。

嵐山東自治連合会　河原　裕